

てーま 「自転車に乗るときのルールについて」

日本語

けいたいでんわ み じてんしゃ の うんてん
携帯電話などを見ながら自転車に乗ることを「ながら運転」
といいます。「ながら運転」が原因で事故にあう人が増えてい
ます。「ながら運転」は法律によって禁止されています。携帯
でんわ み じてんしゃ の けいむしょ はい ばっきん ほう
電話を見ながら自転車に乗ると、刑務所に入るか、罰金を払う
ぼつ あた
罰が与えられます。



「ながら運転」の他に法律で禁止されていることは、お酒を飲んで
じてんしゃ の かさ さ じてんしゃ の いやふおん
自転車に乗ること、傘を差しながら自転車に乗ること、イヤフォンや
へっどほん をつけて音が聞こえない状態で自転車に乗ること、1台
ふたりいじょう の だいいじょう じてんしゃ なら はし による
に2人以上で乗ること、2台以上の自転車で並んで走ること、夜に
らいと をつけずに走ることなどがあります。



ふつうじてんしゃ ほどうつうこうか
普通自転車の歩道通行可



じてんしゃ どうろ ひだりがわ はし
自転車は道路の左側を走ることになっています。ただし、歩道に
じてんしゃ とお しめ かんばん さいみまん こ
自転車が通ってもよいことを示す看板があるときや、13歳未満の子ど
も・70歳以上の人・身体の不自由な人が自転車を運転するとき、道路

こうじ ちみち せま しゃどう とお むづか じてんしゃ ほどう とお
工事などで道が狭くて車道を通ることが難しいときは、自転車で歩道を通ることができます。

ほどう ほこうしゃゆうせん ほどう しゃどうがわ はし ほこうしゃ じゃま いちじ
歩道は歩行者優先です。歩道の車道側をゆっくりと走り、歩行者の邪魔になるときは、一時
ていし
停止しなければなりません。

いちじていし
一時停止

こうさてん いちじていし かんばん と 止まらなければなりません。止ま
って、みぎ ひだり み すず しんごうき しんごう
右、左をよく見てから進んでください。信号機があるときは、信号を
まも
守ってください。

